No.	質問	回答
1	特別支援学級の雰囲気 を知りたいので、見学 したいです。どうした らよいですか?	7月上旬から9月下旬にかけて、各校で特別支援学級説明会を実施しています。 区ホームページをご確認いただき、 事前申込みのうえ 、ご参加ください。 また、各小・中学校の学校公開日に見学が可能な場合もありますので、各校にお問い 合わせください。公開日の日程については、区ホームページにてご確認ください。
2	学区域に特別支援学級 がない場合はどうした らよいですか?	特別支援学級には学区域はありません。文京区在住で、文京区特別支援教育相談委員会において「特別支援学級」の判断が出ている場合は、希望する特別支援学級に入学することが可能です。
3	就学相談ではどのよう な判断がでるのです か?	文京区特別支援教育相談委員会で審議し、次の就学先をお伝えします。 通常の学級 通常の学級+特別支援教室 通常の学級+通級指導学級(「ことばときこえの教室」)(小学校のみ) 特別支援学級(知的 or 情緒)
		・特別支援学校(都立)
4	それぞれの就学先について詳しく知りたいのですが。 ※下線の小・中学校名をクリックすると、ホイージをご覧にはリンクします)。	それぞれ以下のとおりです。 通常の学級+特別支援教室 ⇒ 通常の学級に在籍し、授業を受けながら校内に設置された「学びの教室」(小学校)「アドバンスルーム」(中学校)で、一人一人の課題に合わせ、個別や小集団での指導を受けます。なお、指導は拠点校所属の巡回指導教員が行います。 ○対象: 知的な遅れがなく、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のいずれかであり、通常の学級での学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のお子さんです。 ○指導時間: 概ね週1回2時間程度です。指導を受ける曜日、時間は学級担任、巡回指導教員と相談して決定します。なお、抜けた授業の補充はありません。 ○指導内容: 在籍学級での生活がより充実したものになるように、お子さんの課題に応じた指導を行います。 「本籍学級での生活がより充実したものになるように、お子さんの課題に応じた指導を行います。 「本籍学級での生活がより充実したものになるように、お子さんの課題に応じた指導を行います。 ○対象: 知的な遅れがなく、言葉や聞こえに課題があるが、通常の学級での学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のお子さんです。

·370 3		
No.	質問	回答
4	それぞれの就学先について詳しく知りたいのですが。 ※下線の小・中学校名をクリックすると、ホームページをご覧になれます(外部ページにリンクします)。	概ね週1回2時間程度です。指導を受ける曜日、時間は学級担任、通級指導学級教員と相談して決定します。なお、抜けた授業の補充はありません。また、 送迎が必要 となります。 〇指導内容: 正しく発音できない音がある。話し始めの音を詰まらせたり繰り返したりする。
		特別支援学級(知的 or 情緒)
		⇒ 特別支援学級に在籍し、少人数でお子さんの特性に合わせた指導を受けます。
		○対象: (知的) 知的発達に遅れがあり、他者とのコミュニケーションや抽象的な言葉や 内容の理解がやや困難なお子さんです。
		(情緒) 知的発達に遅れがなく、自閉症またはそれに類するもので、他者とのコミュニケーションや対人関係の形成が困難であるお子さんです。医師から、自閉症(またはそれに類するもの)と診断を受けていることを前提とします。
		〇設置校: 小学校(知的)礫川小学校、柳町小学校、林町小学校、関口台町小学校 湯島小学校、汐見小学校
		(情緒) <u>小日向台町小学校</u> 、 <u>駒本小学校</u>
		中学校(知的)第一中学校、第三中学校、第八中学校、第九中学校 (情緒) 茗台中学校
		特別支援学校(都立)
		⇒ 学 区 制 : (知的) <u>王子特別支援学校</u> (小・中・高) (肢体及び病弱教育) <u>北特別支援学校</u> (小・中・高)
		学区なし:(視覚) 葛飾盲学校(幼・小・中) 久我山青光学園(幼・小・中)
		(聴覚) <u>葛飾ろう学校</u> (幼・小・中・高・高専) 大塚ろう学校 (幼・ 小) 中央ろう学校 (中・高)
		(知的) 知的発達に遅れがあり、他者とのコミュニケーションや社会生活への適応が困難で、身辺処理等日常生活において頻繁に援助が必要なお子さんです。
		(肢体及び病弱)補装具によっても歩行、筆記等日常生活における基本動作が困難 なお子さんや常時の医学的観察や指導が必要なお子さんです。

No.	質問	回答
4	それぞれの就学先につ いて詳しく知りたいの ですが。	(視覚) 両眼の視力が概ね 0.3 未満、または拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が著しく困難なお子さんです。(聴覚) 両耳の聴力レベルが概ね 60 デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を聞き取ることが著しく困難なお子さんです。◎就学をご希望される場合には文京区の就学相談を受けていただく必要があります。お早めにご相談ください。
5	特別支援学級と通常の 学級との交流はどのよ うになっていますか?	「 文京区立学校の『交流及び共同学習』〜共に育つためのガイドライン〜 」に沿って学校生活の諸活動で通常の学級との交流及び共同学習を実施しています。各特別支援学級には「交流及び共同学習支援員」が配置されており、交流学習をする際にサポートをしています。詳しくは「ガイドライン」をご参照ください。
6	特別支援学級には人数 制限はありますか?	学校の教室環境により、受け入れられる児童・生徒数には限りがありますが、昨年度 まで人数を理由として希望が通らなかったケースはありません。
7	特別支援学級に通学する場合、送迎は必要ですか?	安全面の観点から原則送迎をお願いしていますが、お子さんの実態を含め、各学級と相談してください。
8	特別支援学級(知的)、 特別支援学級(情緒) の判断の違いは何です か?	特別支援学級(知的)は、知的発達に遅れがあり、他者とのコミュニケーションや抽象的な言葉や内容の理解がやや困難なお子さんを対象としていますが、特別支援学級(情緒)は、 知的発達に遅れがなく、 自閉症またはそれに類するもので、他者とのコミュニケーションや対人関係の形成が困難であるお子さんを対象としています。また、医師から、自閉症(またはそれに類するもの)と診断を受けている必要があります。 なお、一人一人のお子さんについて、教育学、医学、心理学等の資料を基に、総合的に判断します。
9	通級指導学級「ことばときこえの教室」と特別支援教室「学びの教室」の違いは何ですか?授業を抜けた分の学習内容について、学校からのフォローはありますか?	通級指導学級「ことばときこえの教室」は、言語・聴覚に特化した支援、特別支援教室「学びの教室」は、発達障害・情緒障害への支援になります。いずれも抜けた分の授業の補充はありません。
10	通級指導学級「ことば ときこえの教室」と特 別支援教室「学びの教 室」の両方を利用する ことは可能ですか?	原則、併用はできません。

No.	質 問	回答
11	通常の学級に通う兄弟 姉妹が、特別支援学級 に通う兄弟姉妹と同じ 学校に入学することは 可能ですか?	教育委員会(学務課学事係)で申請手続きをしていただき、同じ学校へ就学させることが望ましいと判断された場合は、可能です。事前に学務課学事係にご相談ください。
12	主治医の所見は文京区 内の病院でなくても大 丈夫ですか?	発達に関する所見 を書いてくださる主治医であれば、文京区内の病院でなくても 構いません。
13	療育機関からの意見書 を提出してもよいです か?	様々な資料を参考にさせていただきたいので、面談時にお持ちください。 文京区特別支援教育相談委員会では、様々な資料をもとに総合的に判断します。
14	通常の学級から特別支援学級に変わりたい時 (その逆も)はどうしたらよいですか? また、そういう例はありますか?	在籍学級を変更することを「転学」といいますが、学校と相談の上、保護者の方から 教育委員会に転学相談のお申し込みをしていただきます。転学相談では就学相談同 様、お子さんに関する諸資料を収集させていただき、文京区特別支援教育相談委員会 で検討します。 転学相談を経て転学されるお子さんは例年いらっしゃいます。
15	文京区への転入を考え ていますが、就学相談 はどうしたらよいです か?	就学相談は、原則、現在お住いの自治体の教育委員会で受けていただきます。 転入の時期によっては、文京区で就学相談を受けられる場合もありますので、詳 しくはご相談ください。
16	就学先について、保護者の希望と文京区特別支援教育相談委員会の判断が異なる場合はどうなるのですか?	保護者の希望を尊重するとともに、お子さんがより良い学びの場に就学できるよう 相談を繰り返し、合意形成の上、就学先を決定します。